



特定非営利活動法人アスクネット 2023年度 年次報告書

子どもと大人が共に学び、
共につくる社会を目指して

アスクネットのあゆみ

- 1999 愛知私学教育ネットとして活動開始
- 2001 愛知市民教育ネットに改名
特定非営利活動法人格取得
- 2001 市民講師ナビ事業開始
- 2004 全国教育コーディネーター交流会開催
- 2006 アスクネットに改名
- 2006 教育CSR事業
「アイシン環境学習プログラム」開始
- 2008 経済産業省
キャリア教育民間コーディネーター育成・
評価システム開発事業
- 2009 代表交代
- 2010 高校生公募型
「マイチャレンジインターンシップ」開始
- 2012 愛知県教育委員会委託
キャリア教育コーディネーター活用事業開始
- 2015 第5回キャリア教育アワード
経済産業大臣賞受賞
- 2015 高浜市 学習等支援事業「ステップ」開始
- 2016 名古屋市 学習支援コーディネート事業
「子どもの縁の下サポーター」開始
- 2017 5か年中期ビジョン開始
- 2018 教育関係者向けイベント「ENGINE」開始
- 2019 代表交代
- 2020 高校生探究プログラム「SPIRAL」開始
- 2022 認定NPO法人取得
- 2021 名古屋市子ども会アシストバンク事業開始
- 2022 2030ビジョン開始
- 2022 「ENGINE」東京会場 初開催
- 2023 「ENGINE」関西会場 初開催

ミッション・事業実施の方針

ミッション

地域の学校・市民・企業・行政・各種団体などと協力して、互いが学びあい育ちあう共同体づくりを進める。そこでの出会いをきっかけとして、人々とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。これらの多様な「出会い」と「挑戦」の機会を通じて、自らの人生を主体的に切り開き、社会をよりよくしていく主体者へと成長する過程を支援することで、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

事業実施の方針

(1) すべてのセクターの人たちの学びのOSを更新する

主軸事業となる学校へのキャリア教育をより発展的に、またキャリア教育が持続可能に展開されるよう、学校内の体制構築に向けたサポートを行う。同時に、予測不可能なこれからの社会の中で、子どもにかかわるすべての人が、学び続ける必要性を感じ、学びあい育ちあい共に地域を創るよう、「学び」に対する概念を更新する役割を担う。

(2) 学校と地域をつなぎ、変革を促進するキャリア教育コーディネーターの育成

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会等、全国の教育団体と連携を図り、教育活動に対しての成果を可視化する。同時に、「若者がリードし、誰もが参画できる共創社会」の実現に向けた学びあいのコミュニティを創造し、人々の変革を促進するキャリア教育コーディネーターの育成、ネットワークの強化を目指す。

(3) 主体的な18歳の育成モデルの進化と誰一人取り残さない社会づくりへの取り組み

主体的な18歳を育成するために、インターンシップ事業やSPIRAL事業等を展開してきた。これらの経験を活かし、さらにより効果的に展開できるよう努めるとともに、機会格差を是正するため、一部の参加者を対象とするのではなく、必要と感じる子どもたちに広く届けられるよう、パートナーシップを活かした仕組みづくりを目指す。また、学習支援事業の活動から、今後も、子どもたちの声にしっかり向き合い、福祉的な役割も必要に応じて取組んでいく。

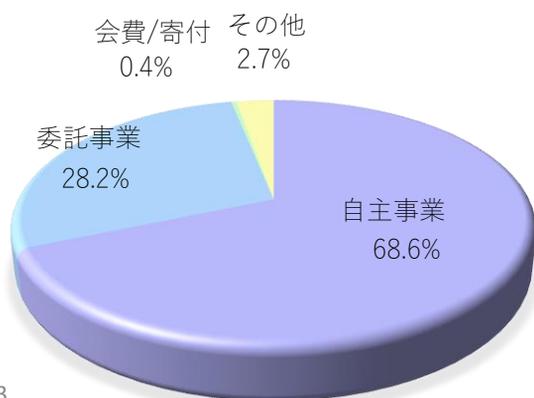
事業概況

2023年度事業決算

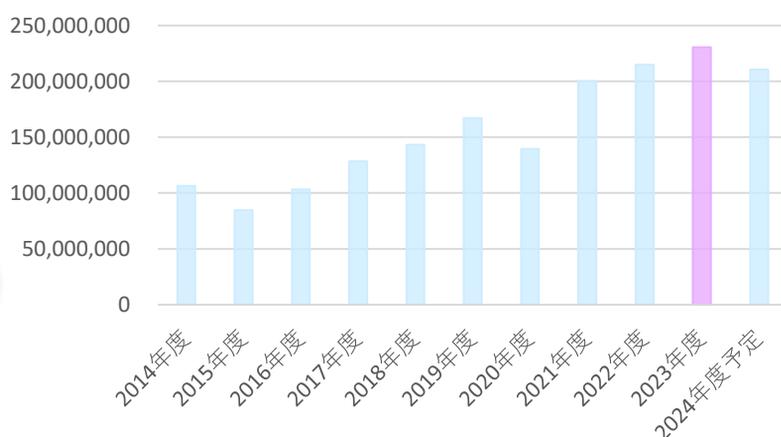
学びあい育ちあう共同体づくりに関する知識、経験の交流の場提供事業			
自主事業	市民講師ナビ事業	145,858,951円	p.4
	教育CSR推進事業	8,668,641円	p.5
委託事業	学習支援事業（高浜市）	16,713,928円	p.6
	名古屋市中学生の学習支援事業コーディネート業務（名古屋市）	3,758,700円	p.7
	キャリア教育コーディネーター活用事業（愛知県）	14,090,203円	p.8
	モノづくり魂浸透事業（愛知県）	5,812,743円	p.9
	技能五輪国際大会招致機運醸成事業（愛知県）	988,908円	p.9
	五輪・アビリン理解促進事業（愛知県）	1,957,967円	p.9
	キャリアプラン早期育成事業（愛知県）	4,580,346円	p.10
	子ども会活動アシストバンク事業（名古屋市）	13,314,400円	p.11
	高校生活躍応援プロジェクト事業（安城市）	1,930,500円	p.12
学びあい育ちあう共同体づくりに関する行催事の運営協力事業			
自主事業	教育イベント推進事業	275,000円	
	教育団体協働推進事業	308,000円	
学びあい育ちあう共同体づくりに関する普及啓発、情報発信事業			
自主事業	キャリア教育コーディネーター育成事業	1,805,250円	p.13
自主／委託	出会いと挑戦の教育普及啓発事業	3,017,946円	p.16
管理部門・その他			
	会費	775,000円	
	寄附金	82,508円	
	その他	6,447,910円	

計 230,386,901円

事業財源内訳



事業規模推移



事業概要説明

実際に社会で働く人に自分の経験や考えを共有してもらう職業講話や、仕事を通じた社会課題解決をテーマとした探究的な講座を実施しています。プログラムをより効果的にするための、ニーズに合わせたプログラムの企画や、年間を通じた授業カリキュラムの設計なども行っています。



長年継続してプログラムを実施している学校、昨年度から新たにスタートした学校ともに、プログラム参加生徒数が昨年度の人数を上回り、過去最高となりました。

特に継続して実施している学校では、年を追うごとに関わっていただく教員も増え、プログラム内容や運営方法について相談・改善をすることで、より多くの生徒にプログラムを届けることができます。

私立高等学校インターンシップ実施状況

【2023年度実施校】

愛知淑徳高等学校	愛知黎明高等学校
安城学園高等学校	市邨高等学校
桜丘高等学校	椋山女学園高等学校
誠信高等学校	聖霊高等学校
高蔵高等学校	同朋高等学校
東海学園高等学校	豊川高等学校
豊橋中央高等学校	名古屋高等学校
名古屋大谷高等学校	南山高等学校女子部

- 課題解決型インターンシップ
- 進路探究型インターンシップ
- 探究講座×インターンシップ
- PBL型学習×インターンシップ 等

インターンシップ
実施校数と参加生徒数

16校
2,572名

中学校～大学における
社会人講座実施状況

25校
4,763名

担当者所感



榎谷 彩乃

多様な社会人講師の皆さま、インターンシップ受け入れ事業所の皆さまのご協力と、先生方のご尽力により、2023年度は2,500名を超える子どもたちが出会いと挑戦の機会を得ることができました。コロナ禍を経て、様々な場面で、急速に変化する社会の変化を感じることとなり、その中で、キャリア教育の必要性もますます高まっていることを実感しています。今後も、様々なセクターの皆さまと共に、地域の子どもたちに「出会いと挑戦の教育」を届けていきたいです。

教育CSR事業 (アイシン環境学習プログラム)

事業概要説明

アイシングループが「青少年育成の社会貢献活動」の一環で事業所を置く市町の小学校4, 5年生を対象に約半年間、森・水辺・くらし・産業の4つのテーマから選んでいただき、それぞれの学校で環境学習のお手伝いをしています。講座(座学)またはフィールドワーク(体験)→愛・シンパシーワークショップ→エコアクション→エコトークセッション(発表)という一連のプログラムを通じて、子どもたちのより深い理解を目指しています。

22校
1,612名



今年度はアイシングループ計10社と22校、1,612名の児童にプログラムを提供し、8月には愛・シンフォニーコース(プログラム実施校教員向けの研修会)を実施しました。

■支援企業一覧

株式会社アイシン
アイシン機工株式会社
アイシンシロキ株式会社

アイシン高丘株式会社
アイシン辰栄株式会社
アート金属工業株式会社

アイシン化工株式会社
豊生ブレーキ工業株式会社

アイシン開発株式会社
株式会社アドヴィックス

■実施校一覧

安城市立桜井小学校
蒲郡市立塩津小学校
西尾市立津平小学校
田原市立童浦小学校
豊川市立一宮西部小学校
豊田市立中山小学校

安城市立梨の里小学校
刈谷市立富士松東小学校
西尾市立米津小学校
半田市立横川小学校
豊川市立千両小学校
豊田市立根川小学校

岡崎市立美合小学校
刈谷市立双葉小学校
西尾市立三和小学校
碧南市立棚尾小学校
豊田市立飯野小学校
(順不同)

岡崎市立本宿小学校
上田市立東塩田小学校
知立市立八ツ田小学校
碧南市立新川小学校
豊田市立寿恵野小学校

担当者所感



山本 綾子

2023年度は、対面型の授業を継続することができました。直接講師の話を聴き、実際に体験することで、児童は様々な気づきを得て、自分たちなりに環境への取り組みを考えているようでした。さらに周囲にもその取り組みを広げようとする児童もいました。今後も環境に対する前向きな取り組みを学校現場でアイシングループの皆様方と見守り、多くの学校に関わってまいります。

学習支援事業 高浜市学習等支援事業 「ステップ」「ステップ・ジュニア」

中高生対象
「ステップ」

事業概要説明

高浜市在住の主に生活困窮世帯に属する児童生徒を対象とした学習等支援事業を実施しました。小学生対象の「ステップ・ジュニア」は毎週火曜日と土曜日に、中高生対象の「ステップ」は毎週土曜日に、高浜市いきいき広場で学習支援教室を開催しました。

全62回
登録**35**名
のべ**720**名参加



今年度も大学生・社会人ボランティアを中心に、子どもたちの学習をサポートしました。感染症による活動制限がなくなり、さまざまな体験活動も再開することができました。小学生は地域のみなさんと畑やモノづくりなどの体験活動、中高生は地域の企業の方へのインタビューやインターンシップの実施を行うことができました。

学習だけでは学べない仕事のことや人とのコミュニケーションなど、関わってくださる皆様のご協力で、たくさんの大切なことが学べた1年となりました。

小学生対象
「ステップ・ジュニア」

全106回
登録**20**名
のべ**930**名参加

担当者所感



山本 夢

今年度は、子どもたち同士が自然と話し合いをしたり、困ったときには助け合ったりする姿が多く見られるようになりました。子どもたち同士で何かをやり遂げるだけでなく、日々のお昼ご飯で地域の方たちと関わったり、インターンシップやインタビューの中で、地域の大人と関わりを持ったことで、子どもたちの日々の過ごし方に変化が出てきたように感じます。

子どもたちが、周りの先輩やサポーター、関わる大人の姿をみて、自分のキャリアや進路について考える姿も増えてきました。今後も、子どもたちがたくさんのご経験を、吸収し、成長できるような場を作っていきます。

名古屋市学習支援コーディネーター事業

事業概要説明

家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱えるひとり親家庭、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生を対象として、別に運営する「名古屋市中学生の学習支援事業」における学習支援事業受託者間の連携強化及び子どもの学習支援事業にかかるネットワークの構築をはかりました。なお、本事業は、株式会社スターシャル教育研究所とコンソーシアムを組み、「子ども縁の下サポーター」として運営を行いました。

学習支援の実施

27会場

1800名



2023年度も引き続き、27事業者が全150会場（定員1800名）で学習支援を実施しました。アスクネットは、学習支援の運営関係者や学習サポーター等を対象とした研修の実施を担当し、延べ367名が参加しました。今年度は、感染症対策の為に実施していたオンラインでの参加ではなく、実地での開催のみへと変更をしました。研修内容は、講演形式だけでなく、参加者同士の意見交換や情報共有に重点を置き、研修の運営を行いました。

支援者向け研修

全12回

367名

- 事業実施責任者 連絡会 2回
- 運営責任者 研修会 2回
- 学習サポーター 研修会 3回
- 学習サポーター 交流会 4回
- 全体会 1回

担当者所感



仲井 達哉

今年度は、昨年より学習サポーター交流会を2回増やしました。普段関わることが少なかった学習サポーター同士がワークを通して仲を深め、他事業所の話聞くことでサポーター同士が繋がる機会を作っていくことを目的として実施をしました。

学習支援の現場での様々な特性を持つ子どもたちとの関わりなどのテーマで研修を行い、会場運営の為となる講座運営を行いました。次年度以降も、より良い会場運営に役立つ研修を行っていききたいと思います。

愛知県キャリア教育コーディネーター 活用事業

事業概要説明

愛知県教育委員会より指定を受けた県立高等学校18校をモデル校とし、キャリア教育コーディネーターを配置することで、モデル校におけるキャリア教育の促進を図ることを目的とした事業です。主に「インターンシップ等体験活動の連絡調整・企画・実施」、「教員を対象としたキャリア教育に関する研修会等への講師派遣及び企画・運営支援」、その他キャリア教育の支援を実施しました。

インターンシップ等
体験活動参加人数

18校
2372名

学校名	参加人数	参加事業所	学校名	参加人数	参加事業所
犬山総合高等学校	0	0	三好高等学校	272	20
一宮南高等学校	70	9	知立東高等学校	716	34
五条高等学校	13	7	豊田南高等学校	30	15
瀬戸西高等学校	58	23	豊田東高等学校	25	16
城北つばさ高等学校	4	3	足助高等学校	5	4
惟信高等学校	248	85	新城有教館高等学校	115	7
東浦高等学校	0	0	豊橋西高等学校	200	5
武豊高等学校	3	3	幸田高等学校	218	28
東郷高等学校	236	16	守山高等学校	159	114



今年度は、コロナ禍の影響を受けず通常通りの体験活動を行える1年となりました。学校からの依頼もインターンシップ等の体験学習だけにとどまらず、探究学習の支援など多様化してきました。先生方と打ち合わせを重ね、学校のニーズに合わせたプログラムの実施をすることで、学校に即したキャリア教育の展開を行うことができました。

守山高等学校・幸田高等学校は、昨年度、普通科全日制単位制に移行したこともあり、生徒全員がインターンシップ等体験活動に参加し、さらには通常よりも日数の多いインターンシップを実施することもできました。この2校については学校側からのニーズも特に高いため、時限的な支援ではなく、本事業が続く限り支援を行っていきます。

教員を対象とした研修会は、学校での開催を6回、すべての県立高校を対象とした研修を2回、計8回開催しました。これからの学びに向かう力やカリキュラム作りなど多岐に渡る内容となりました。



教員を対象とした研修
参加人数

8回
177名

担当者所感



仲井 達哉

今年度も学校からの多様なニーズに対して先生方と打ち合わせを重ね、プログラム提案及び支援を行いました。多くの講師や受け入れ先の皆様にご協力をいただき、多様な体験活動を実施することができました。本事業の特性上、支援できる期間が決められているため先生方へお願いすることも多いですが、地域の子もたちと大人が関わる機会を持つことができるようコーディネーターとして関わっています。

来年度も1人でも多くの子もたちに体験活動の機会が提供できるように取り組んでいきたいと思ひます。

愛知県モノづくり魂浸透事業

(技能五輪国際大会招致機運醸成事業)

(技能五輪・アビリンピック理解促進事業)

事業概要説明

77回実施
3,190名

モノづくり人材の育成を目的とした「モノづくり魂浸透事業（学校派遣事業）」では技能尊重気運を高め、児童・生徒に技能者への憧れやモノづくりへの関心を深めることを目的に、技能五輪メダリスト等の技能者を県内の小学校、中学校及び特別支援学校へ派遣する「派遣講座」、および技能五輪・アビリンピックを目指す選手が行う練習の「見学会」を実施しました。



9年目の受託となるモノづくり魂浸透事業ですが、今年度は1学校にて11月にトヨタ自動車株式会社によるマイ Spoon づくりの派遣講座を行い、1月にその生徒らがトヨタ技能者養成所を訪問し技能五輪選手の訓練風景を見学する連携講座を行いました。自動車板金の技能を活かした Spoon づくりからモノづくりの楽しさを感じ、さらに見学会により技能五輪選手への憧れを抱き、卒業後の進路選択の一つとして視野を広げることができていました。

関連事業である2事業（技能五輪国際大会招致機運醸成事業、技能五輪・アビリンピック理解促進事業）も拡大を遂げました。技能五輪国際大会の愛知県招致に向けて、若い世代を中心に広く招致機運及び技能尊重気運を盛り上げることを目的として、愛知サマーセミナーにてモノづくり講座を3講座実施し170名が受講しました。

技能五輪・アビリンピック理解促進事業は、連続して3年間技能五輪全国大会・全国アビリンピックが愛知県にて開催されるため、大会参加者の裾野を広げることを目的としました。県内の高等学校や特別支援学校（高等部）等において大会選手、指導者による講話、実演、実習指導等を行う出前講座を実施し、10校331名の高校生が受講しました。

担当者所感



安藤 仁美

毎年学校からの申込が実施枠を超える人気の事業ですが、技能五輪・アビリンピックを知っている教員も少しずつ増えてきました。よりよいモノを作るために試行錯誤を重ねるモノづくりの過程には、人間性を養う力もあります。講座の楽しさと、こども達への教育的効果の両方を兼ね添えているのがこの事業の特徴です。

来年度が技能五輪国際大会がフランスのパリで開催されます。9月の大会後は世界で活躍した選手が学校で講座をする機会も出てくるので、来年度も楽しみにしていただければと思います。

愛知県キャリアプラン早期育成事業

事業概要説明

キャリアについての意識づけを早期に行うために、各学校で教員との連携を図り、出前講座を実施しました。本事業は「愛知県 男女共同参画推進課」の事業であり、将来社会で活躍をする女性を増やす、という目的で行われています。そのため「男は（女は）こうあるべき」といった、無意識のうちに持っている「固定的性別役割意識」ととられない将来の選択ができるよう、各所と連携しながら講座を行いました。

また、キャリアについて考える「みんなの仕事応援ノート」を作成・発行し、各出前講座で活用したり、各校での配布を行ったりしました。

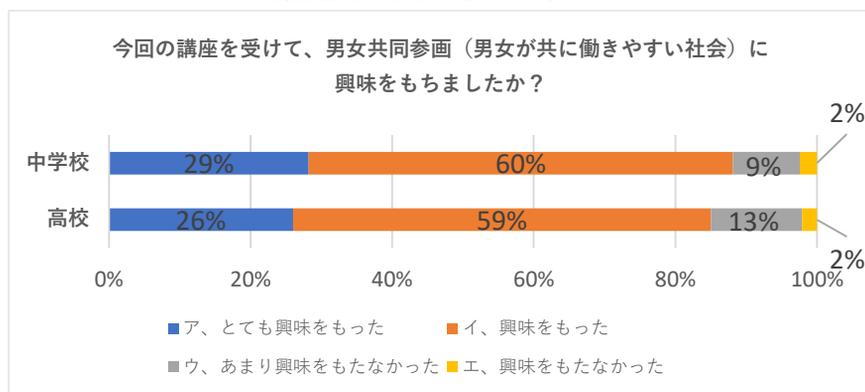
キャリア・男女共同参画に関する出前講座 参加人数

15校
2,544名



本事業では、中学校、高等学校において、キャリアに関する基本的な講座はもちろん、多様な考えがあることに気づく講座や、キャリアコンサルタントの方をお呼びしたり、様々な職業の方をお招きして視野を広げるなど、ニーズに合わせた講座を実施しました。

講座後のアンケートで「男女共同参画」や「男女ともに活躍できる社会」に興味を持った生徒が8割を超えました。「中長期的に継続して働く人材を育成する」という本事業の目的にも繋がったと考えています。



担当者所感



杉原 恵

今年度3年目を迎えた本事業。男女共同参画をテーマとした講座と言っても学校や教員によって捉え方は様々なので難しいと感じる面もありながら、学校のねらいやニーズ、生徒の状況に合わせて、よりよい講座を提供できるよう努めたので、アンケートでは満足度の高い結果をいただきました。本事業で実施が必須となっている「ジェンダーに関するチェックシート」をリニューアルしたり、事前学習用動画を作成するなど講座の質を高めるために、ツールの作成にも力を入れました。

今後も、生徒が自身のキャリアを真剣に考え、今後の学校的生活や進路につながるような講座を提供したいと考えています。

名古屋市子ども会活動アシストバンク事業 (名古屋市委託事業)

事業概要説明

名古屋から、子どもと子ども会を中心とした持続可能なコミュニティプラットフォームの共創することを目的とし、名古屋市より事業を受託しました。

本事業は、「なごや子どもエンカレッジコンソーシアム」として株式会社ウィーケンと共に、運営を行っています。



充実した継続的出会いの創造、地域の信頼関係の構築、ノウハウの共有を目指し、子ども会行事運営を支える活動アシスタントや、子ども会向けに講座やプランを提供いただける方・団体を募集し、専用Webサイトや公式LINEにて紹介しました。

対象区の拡大に伴い、子ども会からの相談件数が増加し、活動アシスタント派遣やイベント提供者ご紹介の件数も大幅に増加しました。

子ども会や本事業について知っていただく共創研修は、対象の4区すべてで開催しました。登録活動アシスタント及びイベント提供者を対象に行う、子ども会についての基礎知識や子どもとの適切な関わり方に関する基礎研修には、子ども会関係者も参加しやすい工夫をし、子ども会を支える地域の方と子ども会役員が交流できる機会にもなりました。

担当者所感



榎谷 彩乃

コロナ禍でほとんどの行事が実施できなかった数年を経て、本格的に子ども会活動を再開する中で、アシストバンクのWebサイトで様々なイベント提供者の情報や、他の子ども会の実践事例をご覧になり、初めての企画を検討される子ども会様からのお問い合わせをたくさんいただきました。

今後も、それぞれの地域の魅力や子ども会の役員の皆様のアイデアを活かした活動のサポートを行えるよう、引き続き、地域の皆様との連携強化やサポート内容の改善に努めていきたいと思っております。

相談件数

489件

活動アシスタント派遣

74件

イベント提供者紹介、
子ども会プラン開催

57件

(令和5年度実績)

イベント提供者、
子ども会行事向け
プランの提供企業・団体

145件

活動アシスタント登録数

51名

(令和6年3月末時点)

16事業所
30名

事業概要説明

安城市より委託を受け、安城市のSDGs共創パートナーへの高校生によるインタビューの支援、SDGsフェスタinあんじょうでの高校生によるプレゼン発表の支援を行いました。

事業を通して、未来を担う高校生がSDGsについて考えるきっかけを作るとともに、SDGs共創パートナーへ取材に行くことで、社会とのつながりを創り、職業選択等の視野を広げること、また、SDGsに取り組む企業にフォーカスすることで、地域企業内のSDGsの機運醸成を高めること等を目的としています。



インタビューの前には事前学習として、ゲームを通してSDGsについての理解を深めたり、取材先企業を調べ、取材後に作成する記事をイメージして質問内容を考えた後、夏休み期間に、16の事業所に、30名の生徒がインタビューに行きました。また、インタビュー後には、安城市のウェブサイトに掲載する原稿の作成とプログラムの振り返りを行いました。

参加生徒のSDGsに対する理解度、地元企業に対する興味が向上しただけでなく、今まで知らなかった職業に興味を持ったり、これから大切にしたい考え方を学んだりする機会にもなりました。

■参加した生徒たちの感想

- ・プロジェクトを企画するときの背景など、思っていたよりも地域のためや、環境に対して取り組みが行われていたことが印象に残っています。
- ・SDGsの17の目標全てを覚えられないわけではないけど、少しでも知って意識するだけでも大分変わるんだなと思いました。みんなにも広めたいです。
- ・色々なことについて学ぶことが出来てとても楽しかったです！人格も改めて考え直す機会にもなったので、これからも学校生活、頑張ります！

担当者所感



榎谷 彩乃

プログラムを実施する中で、生徒のSDGsに対する意識の変化が見られたのはもちろんのこと、自分達で考えた質問をもって社会人から直接話を聞くこと、他校の生徒とチームで取り組むことなどの体験を通して、視野を広げ、自分自身について考える機会にもなっていました。

本事業が一つのきっかけになり、高校生がSDGsの理解を深め、今後の行動につながり、また、関わってくださった大人の意識も変わって、地域全体で持続可能な社会をつくっていくことができたらと思っています。

キャリア教育コーディネーター育成事業 (教育Reformセッション「ENGINE」)

事業概要説明

教育に関わっている方、関わっていない方関係なく、どのような世代・所属の方も、教育に関心を持つ方が「繋がり合い、一歩踏み出す」場を目指し開催しているのが、教育Reformセッション「ENGINE」です。

2023年度は、これまでの名古屋会場・東京会場に加え、関西会場で初開催を迎え、全国3会場での開催をすることができました。

当日は、どの会場でもゲストや講師の方から情報を得るだけでなく、参加者のみなさんも一緒に、教育に関するご自身の活動や想いを語り合っていたきました。それぞれのフィールドでこれからの教育をどう良くしていくか、ゲスト、参加者関係なく一緒に考えていきました。

2023.6.11
名古屋会場
(第4回)

109名

2024.3.3
関西会場
(第1回)

102名

2024.3.20
東京会場
(第2回)

90名

<名古屋会場 Vol.4 実施概要>

■日程：2023年6月11日（日）10：00～16：30

■会場：名古屋市立大学 滝子キャンパス

■基調講演：

白水 始さん（国立教育政策研究所 初等中等教育研究部副部長・総括研究官）
「対話力 ～仲間との『対話』から学ぶ～」

■分科会（一部）：

- ・伊藤 遥さん（名古屋市立高等学校キャリアナビゲーター／認定キャリア教育コーディネーター）
「学校・先生・生徒との『対話』を通じたアプローチ ～高校常駐のキャリア教育専門家として～」
- ・茨 泰憲さん（豊田市立浄水北小学校 地域学校共働本部 コーディネートアドバイザー）
「PTAからPTCAへ ～学校・地域・保護者が共働できる仕組み～」
- ・田中 信康さん（サンメッセ総合研究所（Sinc）代表）
「対話と発信でSDGs共創へ ～岐阜県大垣市未来創造事業戦略～」
- ・渡辺 徹さん／岡本 覚さん（横浜市教育委員会事務局 学校教育企画部小中学校企画課 主任指導主事）
「横浜市立学校におけるSDGs達成の担い手育成（ESD）
～はまっ子未来カンパニープロジェクトによる地域・社会との連携・協働～」
- ・藤井 基貴さん（静岡大学教育学部 准教授）
「『防災道徳』を通して主体的に考え判断できる子どもを育む」



<関西会場 Vol.1 実施概要>

■日程：2024年3月3日（日）10：00～16：30

■会場：園田学園女子大学

■基調講演：

熊平 美香さん（昭和女子大学 キャリアカレッジ 学院長）
「立場を超えて、多様なセクターを繋げる『対話』の力」

■分科会（一部）：

- ・山口 照美さん（大阪市 港区長）
「地域に根ざしたキャリア教育の仕組みづくり～区長としての挑戦～」
- ・徳永 達志さん（ロート製薬株式会社 広報・CSV推進部マネージャー）
「『企業だからこそできる教育』～企業のキモチって？～」
- ・酒井 淳平さん（立命館宇治中学・高等学校 教諭）
「キャリア教育×探究を核としたカリキュラム作りの挑戦」
- ・樹田 千佳さん（大阪府教育庁 市町村教育室 室長）
「子どもたち一人一人が輝く学びの機会の創出～企業・学校・行政の協働の可能性～」
- ・山本 理恵さん（学校法人山本学園IBW美容専門学校 副理事長／未来スクール代表）
「未来スクールの挑戦～中学校と地域の連携による持続可能な探求型教育プログラムの構築～」



<東京会場 Vol.2 実施概要>

■日程：2024年3月20日（水・祝）10：00～16：45

■会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟

■基調講演：

奈須 正裕さん（上智大学 総合人間科学部 教育学科 教授）
「個別最適な学びと協働的な学び～自立した学習者を育てる～」

■選択講座：

- ・日野田 直彦さん
（武蔵野大学中学校高等学校／武蔵野大学附属千代田高等学院）
「未来の学校の作り方～子どもたちが主役の学校～」
- ・児美川 孝一郎さん（法政大学 キャリアデザイン学部 教授）
「日本の教育、どうしてこうなった？～これからの展望するために～」
- ・森 万喜子さん／日野田 直彦さん／生重 幸恵さん
「これまでの教育をゆさぶる」
- ・上田 信行さん（同志社女子大学 名誉教授）
「Playful ENGINEを搭載した学びが、世界をロックする！」

担当者所感



加藤 淳子

ENGINEに参加してくださった方それぞれが、ご自身の課題感を持って参加して下さいます。同じ志の仲間を見つけていただくのも良いですし、違った価値観の方に出会って見識を広げていただくなど、ENGINEが、来てくださったみなさんにとって「一歩踏み出す勇気もらえる場」になればと考えています。

2023年度、東京会場ではNPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク、関西会場ではNPO法人JAEと共催で実施をすることで、他のキャリア教育コーディネーター育成団体との繋がりもより強いものになりました。各地の仲間とともに、より良い教育を作っていくためのプラットフォームとして、これからもENGINEは進化していきたいと思っています。

キャリア教育コーディネーター育成事業 (キャリア教育コーディネーター育成研修)

事業概要説明

キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会との連携の下、「キャリア教育コーディネーター育成研修」を実施しました。効果的な教育プログラムを学校に提供するために、座学（エントリーコース）と実践（実践コース）の両面から研修を実施しています。

エントリーコース
21名
実践コース
15名



■エントリーコース（キャリア教育実践基礎講習：座学全4回）

キャリア教育コーディネーターの役割や学校教育についてなど、基礎的な事項をワークを交えて学びました。

第1回：キャリア教育コーディネーター概論

第2回：地域でおこなうキャリア教育と教育行政

第3回：児童・生徒等の発達とキャリア教育ではぐくむ力

第4回：キャリア教育のプログラム開発

■実践コース（9月開始、3月終了）

小学校2校、中学校2校、高等学校1校 計5校の協力校において、職業講話のコーディネートを実践しました。学校ヒアリングからご登壇いただく講師の開拓と打合せ、当日の実施支援など、コーディネートの一連の流れを体験していただきました。

全学校での実践が終了した後は振り返り会を実施。個々の学びを受講生全員に広げました。



担当者所感



高田 郁弥

本年度名古屋・静岡の2会場で21名の方々に受講をいただきました。学校の先生・企業に所属の方やこれからコーディネーターとしての活動を考えている方など様々な方に参加をしていただきました。近年、「コーディネーター」という職業が注目されつつある中、今後は多くの方に学んでいただける機会を作っていきたいと考えています。また、受講した方が学び続けるための環境づくりにも取り組み、私達と共に子ども達の教育を支える人材を輩出していきたいと思っております。

出会いと挑戦の教育普及啓発事業 (愛知県教育委員会 産学連携地域活性化事業)

事業概要説明

①県立高校と商工会との協働による地域活性化に向けた取組
県教育委員会が指定した3校において、キャリア教育に関するプログラムを地域の商工会・商工会議所と連携して進めることにより、高校生の地域への愛着を深めさせるとともに、地域産業を担う人材の育成を図るものです。

②地域産業を支える人材の採用に向けた取組
県立高校の生徒・教員と地域の商工会会員企業とのマッチングフェアを開催することにより、高校生の地域への愛着を深めたり、地域産業への興味を喚起するものです。

いずれの取組についても、アスクネットがコーディネートを行うことで、学校側・産業界側それぞれの要望をうまく掛け合わせ、プログラムの実施を行いました。

①参加生徒

268名

(指定校3校)

②参加生徒

147名

(2エリア)

<県立高校と商工会の協働による地域活性化に向けた取組 実施報告>

■愛知県立常滑高等学校

常滑商工会議所と連携し、1年生職業講話において、講師12組のコーディネートを行いました(企業12社/生徒228名)。

■愛知県立守山高等学校

春日井商工会議所と連携し、2年生企業連携コースの生徒に対して「PBL型の授業」を行いました(企業2社/生徒36名)。

■愛知県立佐屋高等学校

愛西市商工会と連携し、ベジタブルコースの生徒に対してフィールドワーク型の講座を行いました(企業1社/生徒4名)。



<地域産業を支える人材の採用に向けた取組 (Career Discovery) 実施報告>

■新城地区

新城有教館高等学校/田口高等学校の生徒が120名参加。新城市商工会をはじめとした5地区の商工会から12社に協力いただき、参加生徒に対して仕事のやりがいや地元の魅力をお話いただきました。

■美浜地区

内海高等学校、半田地区の高等学校から27名の生徒が参加。美浜町商工会にご協力いただき7社の方から、仕事の実情や魅力を語っていただきました。



担当者所感



加藤 淳子

地域の商工会・商工会議所と連携したプログラムを実施して感じたことは、「地域の生徒に対する期待値の高さ」です。しかしながら、これまで高校生が地域企業について知る機会があまりなかったのが現状です。

単に「就職のためのマッチング」を意識するだけではなく、高校生が自らの生き方、あり方を考えるきっかけになればと思います。また、そういう仕掛けを作ることができるのが、アスクネットがこの事業に関わる意味なのではないかと思っています。

その他対外活動実績

■講演・講師等

国立大学法人愛知教育大学 キャリア教育論 ゲスト講師
愛知県立安城高等学校 総合的な探究の時間「SDGs 探究学習」講師
静岡西部四市新規採用職員合同研修 講師
名古屋市立大学 現代社会学部「公的扶助論」 ゲスト講師

■委員等

公益財団法人 山田進太郎D&I財団 STEM(理系)女子奨学助成金 選考委員
進化型実務家教員養成プログラム(TEEP) 外部評価委員
NPO法人しずおか共育ネット 理事
キャリア教育学会 パネリスト
子どもの居場所づくり推進会議 委員
高浜市立南中学校 学校関係者評価委員
文部科学省 消費者教育推進委員会 委員
愛知県 まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 専門委員
名古屋市教育委員会「教育事務の管理・執行状況の点検・評価」にかかる有識者会議 委員
認定NPO法人カタリバ NPO法人ETIC ユースセンター起業塾 選定委員
第4期名古屋市教育振興基本計画策定に係る有識者会議 委員

アスクネットメンバー

代表理事 山本和男

スタッフ 菅原伸二 城取洋二 肥田幹子 荒井直人 山田将人
加藤淳子 佐々木愛理 桑原都糸子 安藤仁美 櫛谷彩乃
山本夢 兼子榛奈 森聡子 高田郁弥 杉原恵
仲井達哉 山本綾子 今村祥吾 榊原杏里紗 本田琳子
水谷早希 真下寛子 山本和浩 松尾拓海 佐々木志穂
垣見知宏
岡田雅人 平岡里沙子 (2024年4月入職)

学習支援専任 石川多恵子 内藤靖子 菊池波子 三浦小綾香 杉浦有子
福島和成



ASK NET

特定非営利活動法人アスクネット（ASK-NET）

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町8-5 愛知私学会館東館3階

設立：1999年6月（2001年10月法人格取得）

TEL：052-881-4349

FAX：052-881-5567

MAIL：info@asknet.org

<https://asknet.org>